

平成28年度 やまなし エコ通勤・エコ通学 トライアルウィーク 実施状況



1. 参加申し込み状況

申し込みと現在の通勤状況

申し込み	従業員数	マイカー通勤
17	7,139	5,274

- ・エコ通勤トライアルウィークへの参加申し込みのあった事業所数は17事業所。
- ・参加事業所に勤務する7,139人のうち5,274人(73.87%)が現在マイカーで通勤。

ステップ1 エコ通勤PR取り組み状況

メール等	掲示等	会議等	個別	その他
9	13	6	5	0

- ・エコ通勤のPRは17箇所全ての事業所で実施。
- ・PRの方法は、各事業所で、効果的な方法を選択してもらい、内訳は

「メール・イントラネットなどで案内」	9事業所
「掲示物・職場内回覧などで周知」	13事業所
「会議・朝礼などで呼びかけ」	6事業所
「マイカー通勤者に個別に働きかけ」	5事業所

ステップ2 エコ通勤転換予定者数

徒歩	自転車	公共交通	その他	計
162	177	176	153	668

- ・期間中は参加事業所のマイカー通勤者5,274人のうち、668人(12.66%)がエコ通勤にチャレンジする予定。
- ・エコ通勤の種別ごとの転換者数は

「徒歩通勤にチャレンジ」	162人(24.25%)
「自転車通勤にチャレンジ」	177人(26.49%)
「公共交通通勤にチャレンジ」	176人(26.34%)
「その他のエコ通勤にチャレンジ」	153人(22.90%)
- ・「その他のエコ通勤」の153人は「マイカーによる乗り合わせ通勤」を実施予定。

ステップ3 ワンコインエコチケット配布数

チケット計	実人数
814	248

・配布対象者別内訳

	チケット	実人数
公共交通にチャレンジ	458	70
自転車通勤にチャレンジ	356	178
計	814	248

- ・今年度も、自転車通勤にチャレンジする方に雨天対応用として1日分のエコチケットを配布。
- ・期間中、1乗車100円で路線バスを利用可能な「ワンコインエコチケット」の配付枚数は814枚。
- ・うち、バス通勤にチャレンジする方の分が458枚、自転車通勤にチャレンジする方の雨天のバス対応分が356枚
- ・エコチケットを配付する実人数は248人で、うちバス通勤にチャレンジする者が70名、自転車通勤にチャレンジする方が178名

2. 期間中の取り組み状況

参加事業所からの実績報告

	徒歩	自転車	公共交通	その他	計
3月13日	13	43	17	22	95
3月14日	19	38	17	25	99
3月15日	16	43	16	27	102
3月16日	18	56	11	25	110
3月17日	15	47	25	27	114
3月18日	8	8	4	1	21
3月19日	3	7	3	0	13
合計	92	242	93	127	554

- ・期間中にエコ通勤に取り組んだと報告のあったのは延べ554名。
- ・エコ通勤の種別ごとの実績は
 - 「徒歩通勤にチャレンジ」 92人(16.60%)
 - 「自転車通勤にチャレンジ」 242人(43.68%)
 - 「公共交通通勤にチャレンジ」 93人(16.78%)
 - 「その他のエコ通勤にチャレンジ」 127人(22.92%)
- ・自転車通勤にチャレンジした方が、約半数を占める結果であった。

参加者からの代表的な意見

- ・肯定的な感想
 - ・ほどよい運動となり、健康に良かった。
 - ・バスに乗車している時間に読書をしてリフレッシュできた。
 - ・環境に対する意識が高まった。
 - ・前から自転車に変えるという考えがあったが、踏ん切りがつかなかった。良い機会となった。
 - ・思っていたほどバスが混んでなくて快適だった。
- ・否定的な感想
 - ・公共交通機関だと待ち時間を含めると普段よりも通勤時間がかかってしまう。
 - ・バス路線が少なく、有効利用が難しかった。
 - ・バスが時間通りに運行されておらず、大変だった。
 - ・勤務形態から、公共機関や徒歩・自転車による通勤が難しい。
- ・転換への課題
 - ・公共交通機関の利便性（朝・夜便数、運行時間の拡張）の向上がないと、現状ではマイカーからの転換は難しい。
 - ・勤務地・居住地付近に公共交通機関がなく利用が困難。
 - ・通勤転換する場合、公共交通機関ではなく、自転車が最有力候補となるのが現状。
 - ・自転車あるいは徒歩通勤だと、車道と歩道の区別がない道路では非常に危険。インフラの整備が急務では。
 - ・改めて公共交通を利用すると、料金の高さがネックとなる。
 - ・鉄道とバスの接続が良くなれば公共交通による通勤がしやすい。